

今回は、探究活動の成果を活用した進路実現（その2）の報告です。

◇ 田谷ひなのさんの合格体験記（岐阜大学社会システム経営学環）です！

学校推薦型選抜（共通テスト利用）岐阜大学社会システム経営学環 合格

田谷ひなの

私は共通テストを利用した学校推薦型選抜において岐阜大学社会システム経営学環に合格しました。推薦入試で合格を勝ち取れたのは高校3年間で取り組んできた活動があるからだと思います。私が取り組んだ活動は主に2つあります。

1, FRH 活動

私は2年生の時から先輩から引き継いだ洞戸キウイに関する研究や活動に取り組みました。私がこの活動に取り組み始めたのは「新しいことに挑戦したい!」、「まちづくりに関わりたい!」という思いがあったからです。まず自分自身で洞戸キウイが抱える課題を捉えるために農家さんにインタビューを行い、その後は課題解決のために英語を用いたプレゼンテーションを行いました。

他にも多くのことを行いましたが、FRH 活動は自分の持つ可能性を広げること、社会に出たときに必要な力を得ることそして自分の夢を明確にするきっかけとなりました。1,2 年生の中には FRH 活動を面倒だな、嫌だなと思っている人もいます。しかし、FRH 活動に懸命に取り組むことで得られるものは必ずあります。何をしたらいいのかわからない人は興味



を持つ、先輩が行ってきた FRH 活動に取り組んでみるのも良いかもしれません。関高校の先輩が行ってきた活動は魅力的で素晴らしいものばかりです。

2, イベント企画・開催

3年生の時には市内を巡るスタンプラリーイベントを一人で行いました。1,2 年生の時には FRH 活動だけでなく市の高校生まちづくり団体（VS プロジェクト）に所属していました。これらの活動を通して得た力で「一人でも何かをしてみたい」、「町の活性化に取り組みたい」という思いからイベント企画を行うことを決意しました。

この挑戦により面接に必要なコミュニケーション力や自分の強みを作ること、自分の持つ



力を試すことができました。そして面接当日、今まで作り上げた実績が大きな自信になりました。大学の教授の方々の関心も大きかったです。新しいことに挑戦することは勇気がいるますが、やってみると楽しいし自分を高めることができます。また私たちの周りには若者の活動を応援して下さる方がたくさんいます。皆さんも何か新しいことに挑戦してみませんか？

今まで述べた活動は推薦入試において大きな強みにはなりますが共通テストの点数も大事です。私自身3年間塾には通わず、朝早く来て勉強したり、時間のある時には図書館に行ったりコツコツと勉強に取り組んできました。

正直周りの多くは塾に通っており、一人で勉強することが辛い、心細いと思うことがありました。しかし、塾に行かなくても「絶対目標の国立大学に行きたい！」という強い思いと努力があれば目標を実現できると思います。私たちには限界はありません。私自身、入学当初は成績の伸び悩みに苦しみましたが、日々努力を続け、こころざしの高い仲間と切磋琢磨し、だんだんと学力を伸ばしていきました。そして共通テストでは良い結果を出し、目標の大学に合格することができました。学力は努力すれば必ず伸びます。自分はできないと諦める必要はありません。



今後私はさらなる目標である持続可能な地域経営を支える公務員になるため、大学での研究や、地域での活動を自分らしく行おうと思っています。

皆さんも最後まで諦めず夢や目標に向かって頑張ってください。応援しています！

